

式辞

本日ここに、新生群馬県立桐生高等学校第一回入学式を、コロナ禍の感染防止対策を講じた中で、ご来賓の皆様のご出席を仰ぎ、このように厳粛に挙行できますことに、深く感謝し、心から御礼申し上げます。

ただいま本校への入学を許可いたしました三百二十六名の新入生の皆さん、入学おめでとう。また、保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。お子様のご入学を心からお祝い申し上げます。

さて、新入生の皆さんは、本日、群馬県立桐生高等学校の生徒となりました。これまで皆さんを支えてくださった保護者の方々、小学校、中学校の先生方をはじめ、関係する多くの方々に対し、感謝の気持ちを忘れずに、新たな一步を踏み出してください。

本校は、百年を超える長い歴史と伝統を誇る桐生高等学校と桐生女子高等学校が統合し、今年度誕生した新しい高校です。桐生高校と桐生女子高校、両校の伝統やこれまでの優れた取組を継承、発展させるとともに、生徒、職員が一体となり、さらに魅力ある高校を創る貴重な機会を与えられました。魅力ある学校とは、「生徒が明るく生き生きと活発に高校生活を送り、それぞれの夢や目標の実現に向け、互いに向上していく学校」であると考えます。新入生の皆さんも、これから自分たちが新生桐生高校を創っていくという気概とプライドを持って、高校生活を送ってもらいたいと思います。

これから、そのような高校生活が始まる皆さんに、次の二つのことを話し、お祝いの言葉とします。

まず一つは、大きな夢と高い志を胸に抱き、悔いのない有意義な高校生活を送ってください。今日から始まる本校での生活は、皆さんが将来に向かって歩み始める第一歩でもあります。今やるべきことは何かを、常に考え、誠心誠意努力し続けることが大切です。もちろん、良い時もあれば、うまくいかない時もあります。良い時は、浮かれすぎず、うまくいかない時は、落ち込みすぎず、地に足をつけ、正々堂々と日々の生活を送ってください。同時に、失敗を恐れず、何事にも挑戦しようとする気概を持って三年間を過ごして欲しいと思います。

もう一つは、将来、様々な分野で活躍するための人間力を磨いてください。現代は「変化」、「多様性」、「予測困難」がキーワードとなる時代です。皆さんには、「変化をチャンスと捉え、たくましく生き抜く力」が必要となります。そのためには、「自分の中に複数の視点を持つこと」、すなわち、「ひとつのことに対し、固定観念に縛られることなく、様々な角度から捉え考えることができる柔軟性」が必要となります。これからの高校生活の中で、異なる考え方や価値観を理解し、認め合うことにより、視野を広げ、どのような状況の中でも柔軟に対応できる人間力を磨いてください。

保護者の皆様、私たち教職員一同、全力を尽くして教育活動に当たり、大切なお子様を支援していきます。学校と家庭とが互いの役割を認識し、協力していくことが、お子様の夢の実現に向けての礎であると考えます。是非とも本校の教育方針に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さんの高校生活が、明るく生き生きと前向きなものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和三年四月八日
群馬県立桐生高等学校
校長 竹内 敏彦